

ウインコスオートモーティブフィルム 広領域紫外線カット「UV-25HD(N)」



新製品開発のコンセプト

「透明タイプに新たなニーズとなる広領域紫外線カット効果の特徴をもった製品を追加することで、新たな市場をつくり装着率の向上を図る」

【現状】

- ・一般ユーザーの紫外線カット効果への意識の向上。
→さまざまな紫外線カット製品による市場拡大とPR増加。
- ・従来とは異なり、新型の自動車に紫外線カット効果99%のガラスが採用される傾向が増加。
- ・フロントガラス、化粧品等の紫外線カット効果が従来品に比べ広領域カットに（380nm → 400nmへ）。

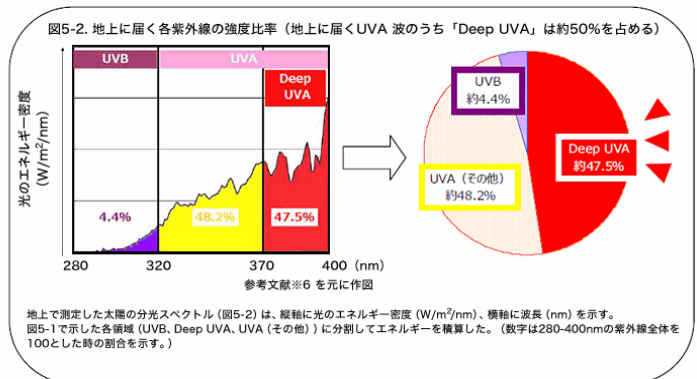
【今後】

- ・フロントガラスのUVカット効果が「400nm」までとなる製品の増加。
- ・化粧品業界を含め紫外線領域「400nm」が定着（気象庁他）。
- ・JIS → ISO基準への展開により海外戦略製品へ。

※JIS以外では紫外線が「～400nm」が一般的とされる傾向。

【参考文献】

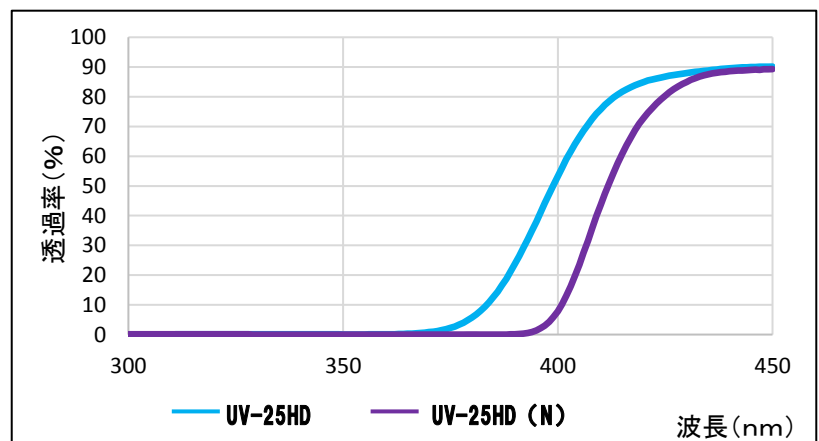
地上に届くUV-Aの紫外線強度比率では、約50%を370nm～400nmの波長が占めるとされている。



※富士フィルム株式会社HPより抜粋

UV-25HD(N)の光学的特性と光学チャート

項目		UV-25HD(N)
可視光線	透過率(%)	91
	反射率(%)	9
紫外線	透過率(%) JIS版	0.02
	透過率(%) ISO版	0.59
※紫外線透過率JIS版は、JIS S 3107に準拠した実測値となります(紫外線領域:300nm~380nm)。		
※紫外線透過率ISO版は、ISO9845-1に準拠した実測値となります(紫外線領域:300nm~400nm)。		
※可視光線透過率は、JIS S 3107に準拠した実測値となります。		
※上記数値は実測値であり、保証値ではありません。		



リンテック株式会社

●本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
●支店 札幌・仙台・北陸・静岡・名古屋・大阪・広島・四国・福岡 ●工場 吾妻・熊谷・千葉・龍野・新宮・小松島・三島
●テクノロジーセンター 伊奈 ●研究所 蕨

お問い合わせは、建材営業部 〒112-0004 東京都文京区後楽2-1-2 興和飯田橋ビル
TEL. (03)3868-7733 FAX. (03)3868-7755
E-mail: wf@post.lintec.co.jp

http://www.lintec.co.jp/

新製品の性能



広領域紫外線カット効果

～業界初の400nmまでの紫外線を99%カット～

新製品の広領域紫外線カットフィルムは、新粘着剤を採用。新粘着剤の技術により、従来ではカットができなかった、広領域の紫外線（～400nm）までを**99%以上**カット。

※ISO9845-1に準拠し測定



自動車用ウィンドーフィルムとしては、他社にはない性能。ドア用ガラス、リアガラスとしても市場にはない**唯一**のUVカット性能（弊社調査による）。



自動車のどの座席にいても、**広領域紫外線カット効果**を実現。



ガラス飛散防止性能 ～安全性の確保～

優れた飛散防止性能で破損したガラス片の飛散を防止し、安全性を確保。

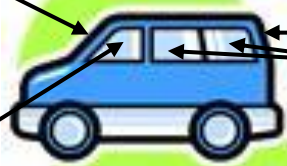
これからのカーフィルムは、車内の快適空間だけではなく、後部座席はもとより運転席、助手席の安全性が求められる。

※自動車窓ガラス用フィルム JIS S 3107 : 2013にガラス飛散防止性能試験の項目が追加され、ガラス飛散防止効果は重要な品質に！！



施工例

●フロントガラス：IR-90HD※



●リアガラス

●後部ドアガラス

機能性重視・・・UV-25HD (N)、HCN-70、HCN-60G

コスト重視・・・UV-25HD (N)、IR-90HD

機能性+ファッション性重視・・・HCD-30G、HCD-20G、HCD-10G

コスト+ファッション性重視・・・スタンダードシリーズ

透明着色タイプ、着色タイプ
メタリックタイプ

●運転席、助手席ドアガラス：UV-25HD (N)、IR-90HD※

※道路運送車両の保安基準によって、カーフィルムを車両の「前面ガラス」「運転席側面ガラス」「助手席側面ガラス」に貼る場合、フィルムを貼った状態での窓ガラスの可視光線透過率が70%以上必要と定められております。また後面ガラスやバスなどの側面・前扉ガラスなど、運転に必要な視野を妨げるおそれのある箇所に貼ることについても制限されています。本製品は89%の可視光線透過率がありますが、窓ガラスへ貼付した後の可視光線透過率70%以上を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。